

「進化に挑戦する」全社DXプロジェクトについて
—ものづくりDX企業への変革—

当社は、お客様、株主様、従業員の期待に応える新たな価値を提供し企業価値を高めるとともに、環境経営（カーボンニュートラル等）や会社文化・風土等の変革を推し進める全社DXプロジェクトを、部門・グループ横断で着手することといたしましたのでお知らせします。

年々増加する少品種少量生産への要求やカーボンフットプリントなど、従来のものづくりからの変革や新しい対応が求められております。その対応として、ものづくりプロセスを最新のITツールやデジタル技術活用をベースに再設計し、スピード感を持った体制と環境対応等を実現するものです。

この取り組みにより既存事業の収益性強化、将来に向けた新規事業の早期立ち上げと収益確保に加え、ものづくり以外の様々な業務プロセスの標準化・効率化、人事制度や働く環境といった企業全体の変革につなげ、さらには企業風土・文化も変革していくものです。

当社Vision「FDKグループは、Smart Energy Partnerとして、先進技術を結集し、お客様に電気エネルギーを安心して効率的に活用いただき、持続可能な社会の実現と発展に貢献します」をより強力に推し進めていくため、本プロジェクトをグループ社員全員が参加するものとするとともに、お客様の声を反映してまいります。

<全社DXプロジェクトについて>

本プロジェクトは、以下の実行体制で進めます。

○経営のリーダーシップ

代表取締役社長（兼）CDXO 長野 良がプロジェクトオーナー

執行役員 渡辺 伸之が実務執行統括責任者となり、経営メンバー全体のリーダーシップでプロジェクトを進めます。

○各部門・リージョンから部門責任者を選出

国内10部門、国内外関係会社の責任者が部門固有のDXを推進してまいります。

○DX推進室の設置

本年4月にDX推進組織であるDX推進室を設置いたします。

生産技術、製造部門、営業、社内IT、コーポレート等の多様な人材を選出し、実務執行統括責任者とともに活動を推進します。部門横断での改革の推進、全社施策の各部門・関係会社への浸透、各部門レベルでのDXをリードしてまいります。

関連資料「FDK全社DXプロジェクト概要」

以 上

FDK全社DXプロジェクト 概要

2023年3月29日

FDK株式会社

進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために

1. ご挨拶とDX方針
2. 当社DXの取り組み
3. DXの進め方
4. DX推進体制
5. DX戦略（ものづくり、共創ビジネスモデル、業務変革）
6. IT人材の育成・採用
7. IT環境整備
8. サイバーセキュリティ対策
9. 成果と指標

当社グループは、中長期の会社の方向性として「10年の計」を掲げ、その目標に向け、さまざまな活動を行なっております。

しかし、厳しい市場環境や他社の動向、環境保護の高まりなど、当社グループを取り巻く状況は日々変化しており、それら変化に対応し持続可能な社会の実現と発展に貢献していくためには、最新のデジタル技術、サービス等の活用が大変有効だと考えております。

また、今後の成長のためには、デジタル技術により、これまでにない新たな価値の提供とビジネスモデルの創造を目指したイノベーションが必要と考え、DXに取り組んでいくことといたしました。

当社はこのDXの推進により、お客様、株主様、従業員の期待に応える新たな価値を提供し企業価値を高めるとともに、環境経営（カーボンニュートラル等）を推進、牽いては、会社文化・風土等の変革を目指してまいります。

今後とも当社グループの様々な取り組みにご理解のほど、よろしく願いいたします。

Chief DX Officer

代表取締役社長 長野 良

DX実務執行統括責任者

執行役員

渡辺 伸之

DX方針

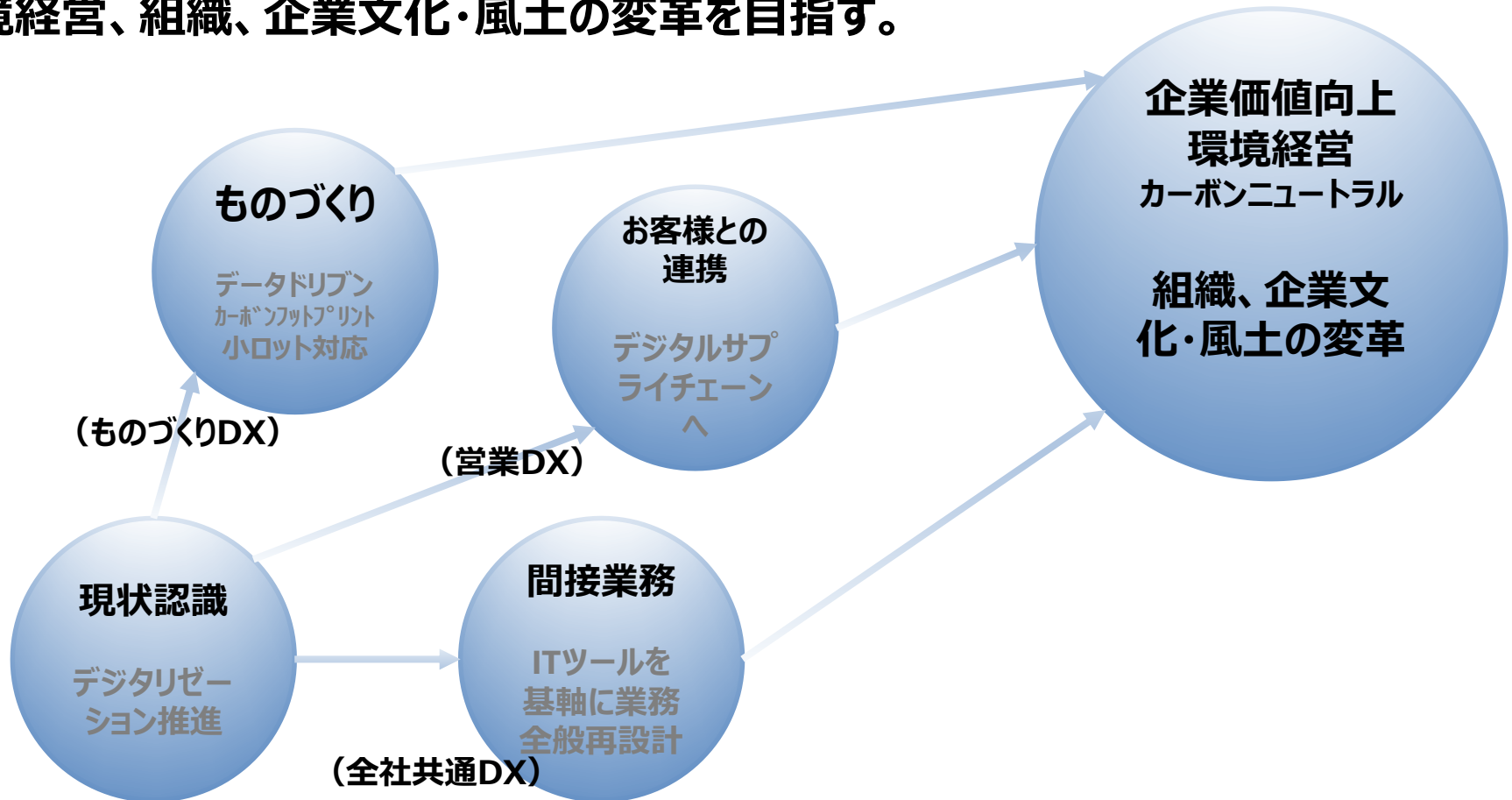
- ・ 当社Visionに向かって DXを全社員が参加・推進。
- ・ デジタル技術の活用をベースに、従来の業務を再設計。
- ・ お客様とともに新しいビジネスモデルを開発。
- ・ 企業文化・風土の変革を図り、競争上の優位性を確立。

当社Vision :

「FDKグループは、Smart Energy Partnerとして、先進技術を結集し、お客様に電気エネルギーを安心して効率的に活用いただき、持続可能な社会の実現と発展に貢献します。」

当社DXの取り組み

「現状を認識」を起点とし、デジタル技術をベースに「ものづくり」「間接業務」「お客様との連携」を大胆に再設計。DXに関する活動はそれぞれの部門が主体的に推進しながら、お客様、株主様、従業員の期待に応える新たな価値を提供し、企業価値向上、環境経営、組織、企業文化・風土の変革を目指す。

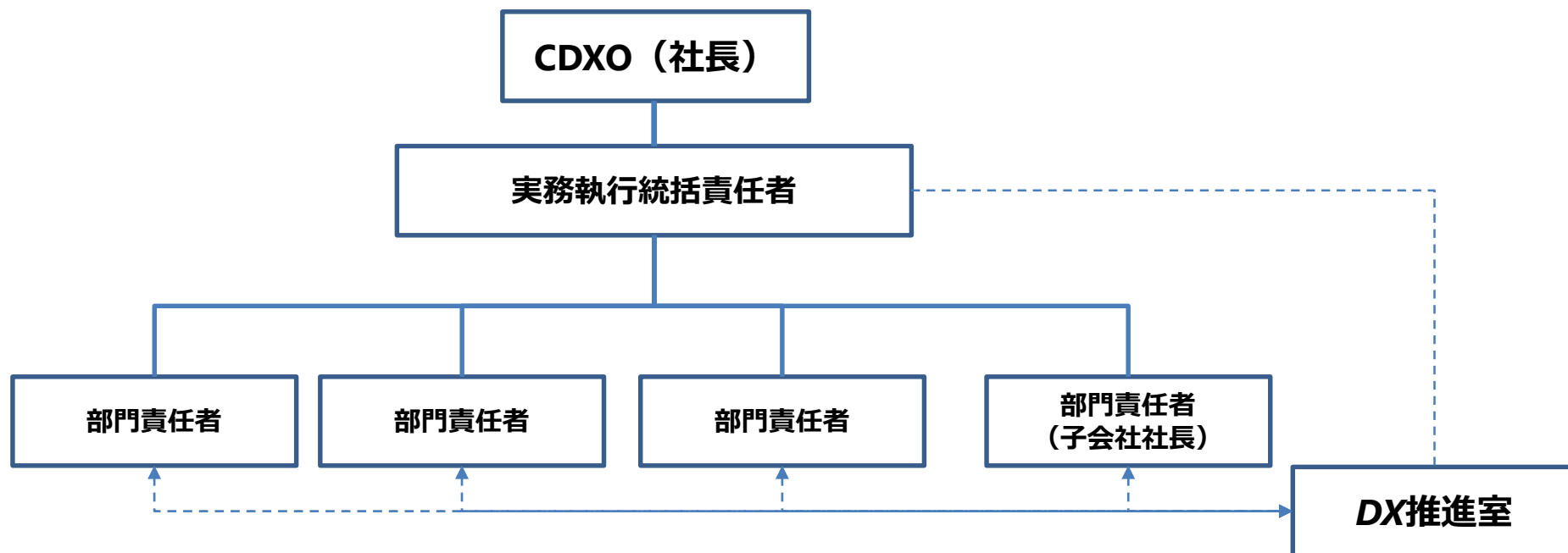


「経営」と「現場」が一体となり、デジタルを最大限に活用したトランスフォーメーションを目指す。



今後、世界的に進むカーボンニュートラルやデジタル技術にもとづいたビジネスへの対応を加速するため、経営はグループ全体としての最適な資源配分を図り、ポートフォリオをダイナミックにマネージし、各部門の知識を結集し、一体となってDXを推進する。

- ・社長がプロジェクトオーナーとなって活動を推進
- ・全社全員参加により活動を加速
- ・事業横断でDXを推進するDX推進室を2023年4月設置



- 社長がCDXOに就任、実務執行統括責任者とともに全社推進の指揮を執る。
- 各部門責任者が部門固有のDXを推進する。
- 新設のDX推進室は全社に係わるDXを推進、また、各部門をサポート。

変種変量のお客様要求、カーボンニュートラル実現に不可欠なエネルギーマネジメント、販売まで連動した生産システムや生産を停止させない工場ネットワークセキュリティ、これらの課題に向け、デジタルを最大限に活用したトランスフォーメーションを目指す。

STEP
01

カメラ・AI
データ収集

STEP
02

AI学習
生産品質向上

STEP
03

電力データ化
カーボンフットプリント対応

ロボティクス化
小ロット対応

STEP
04

STEP
05

Smart
Factory

お客様へ新しい価値を提供

現状分析とデータ活用により、新しい価値をお客様に提供または、お客様と共に、価値開発を進める。



01

デジタル技術を活用した製品開発のスピードUP

02

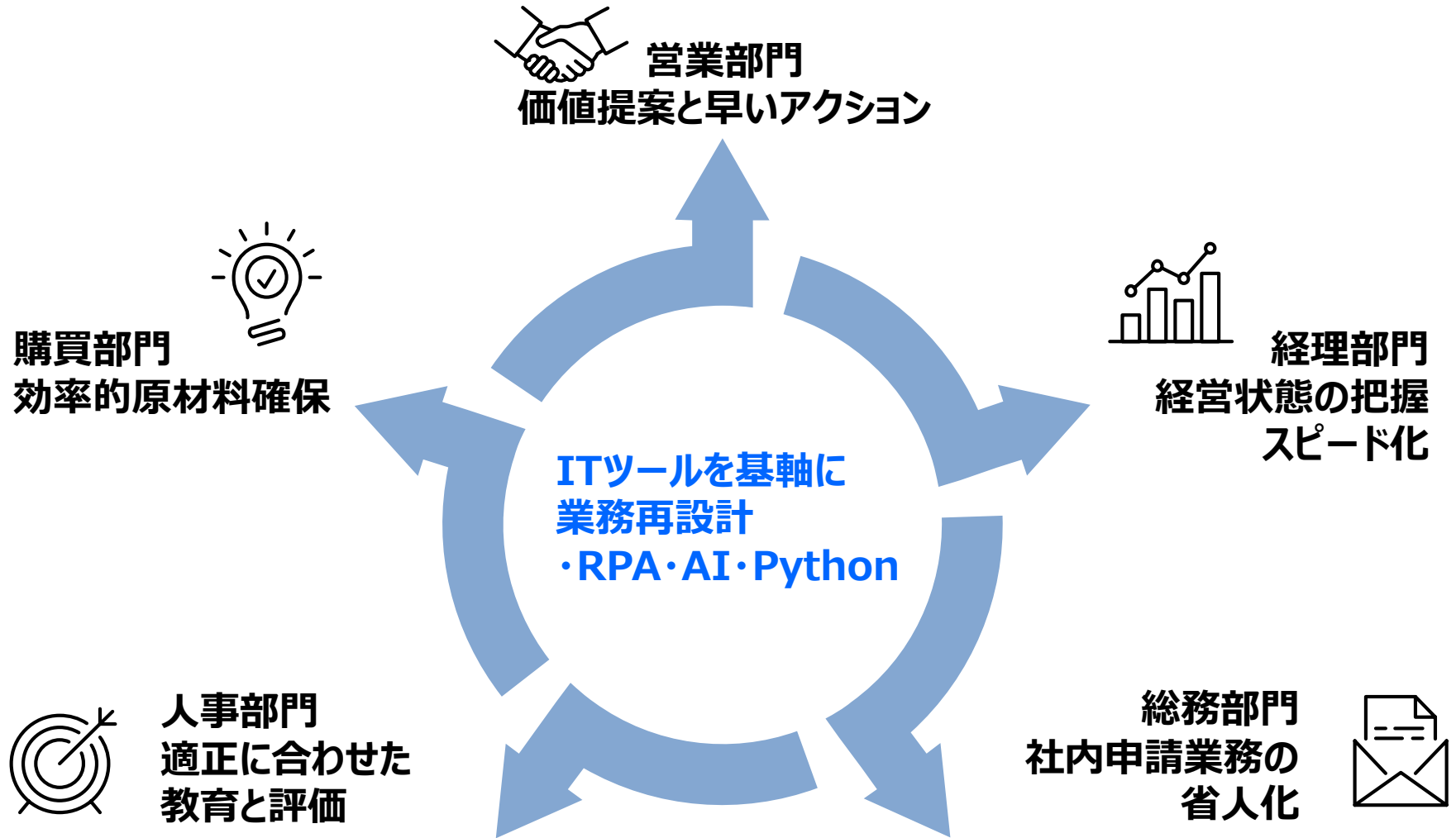
ものづくりDXによる量産品質向上とスピードUP

03

開発からものづくり、出荷までのデータをつなぐデジタルサプライチェーン

04

当社ものづくりデータを活用したお客様とのビジネスモデルの共創



人事制度を刷新

コンピテンシー評価を取り入れ若手のやる気向上

ベテラン社員も活躍できる制度へ移行

DX人材の育成・採用

DX人材育成のため、DX向け教材の提供、オンライン教育の拡充

IT人材の獲得に向けた採用とベンダーの活用を推進

(1) 基幹システム・ハード等の刷新

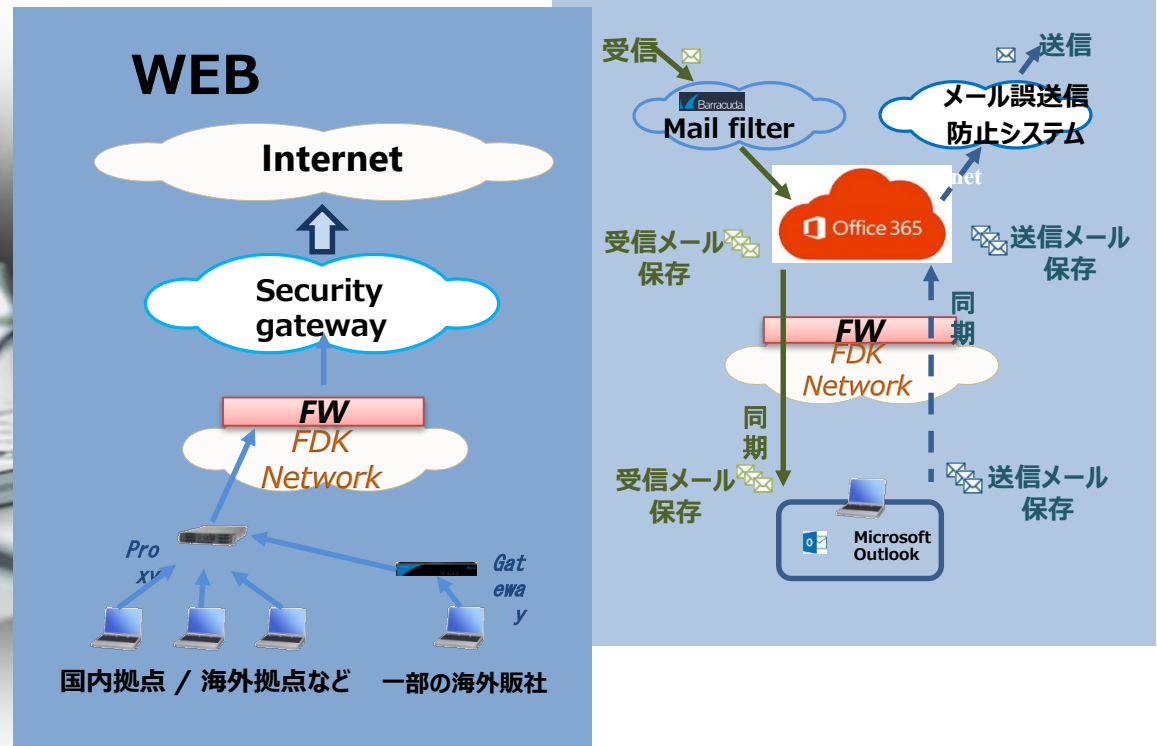
- ① 販売システム統合構築に向けたプロジェクトを発足
システム共通化による業務効率の向上・投資ならびに経費削減を目的に、自社開発の販売管理システムへの移行を実施。
- ② 全社データのバックアップ体制構築
会社データの万一のトラブルに備え、バックアップサーバならびにデータセンターへのデータ移行体制を構築。

(2) 業務の効率化に向けたITシステムの積極活用

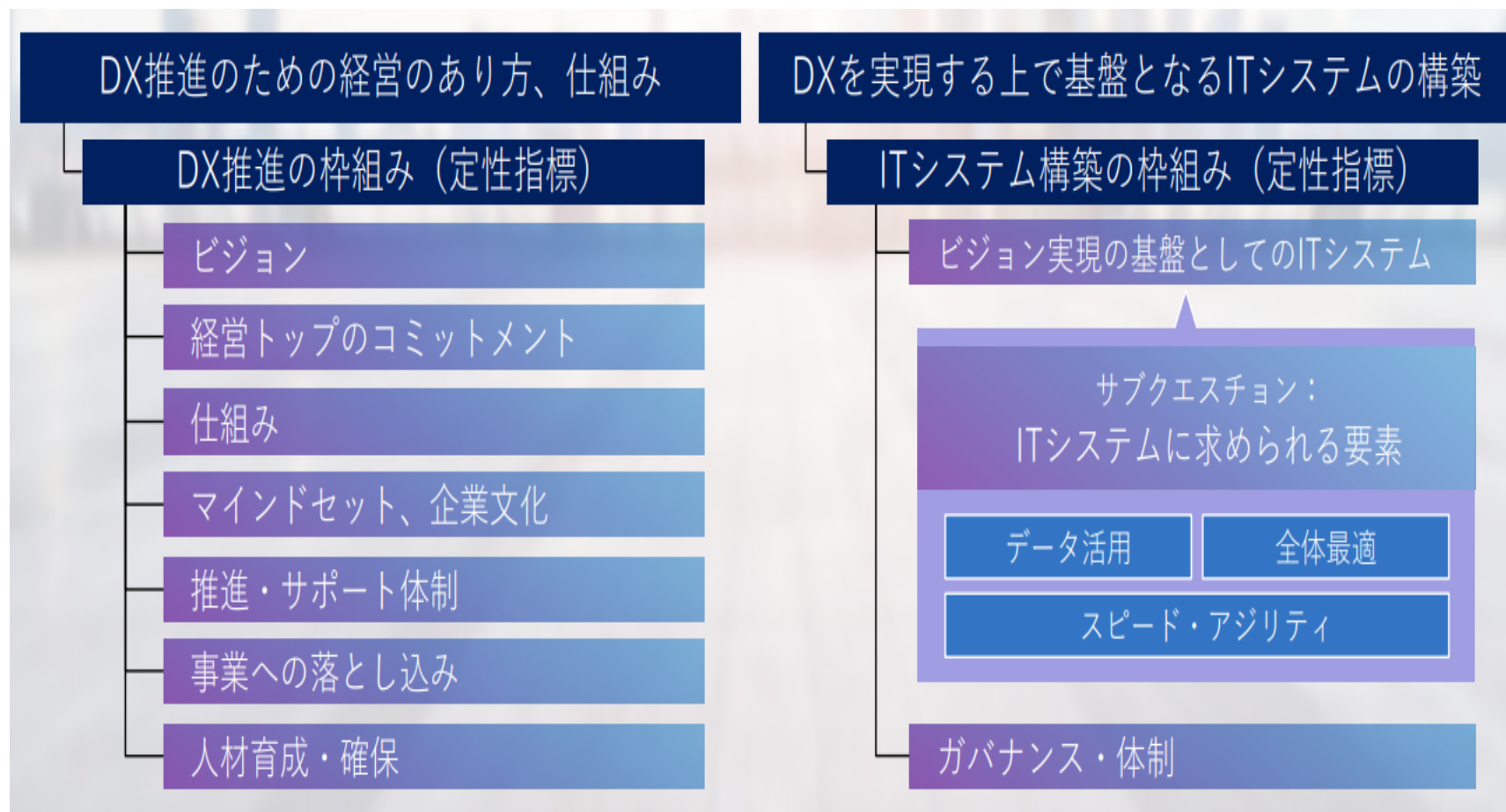
- ① Microsoft Office365（ビジネスチャット、音声/ビデオ会議機能搭載等）を活用し、テレワークでの業務高質化を実現。
- ② 社内の内線電話を携帯電話に刷新。事業所以外の場所でもコミュニケーションが可能となる等、利便性が向上。
- ③ AI, RPAの活用による業務改善
各種業務へのAI・RPAの活用を推進、作業時間減少、時間外労働の削減等、効率化拡大。

今後、既存システムの刷新や戦略的DX投資を含め、3年間で約5億円の投資を計画

当社はサイバー攻撃に備え、ファイアウォールなどのゲートウェイ対策、不正アクセス検知などのネットワークセキュリティ対策を以前から行なっております。また急増するランサムウェアなどへの対応のため、エンドポイントの対策も強化しております。
今後、進入時の検知、万が一のデータ消失に備え、バックアップデータからの早期復旧を目指した対策を推進し、IT環境の安全性を確保してまいります。



当社DXに対する成果指標は業績ならびにDX推進指標（経産省）により進捗状況を確認する。



FDK

確かな技術 育てる未来